

会員拡大委員会事業計画

会員拡大委員会 委員長 杉本 貴美子

1 我々倉吉青年会議所の最大の目的は、「明るい豊かな社会の実現」です。その目的達成
2 のためには、継続して運動し続けていく必要があります。しかしながら、年々会員数が減
3 少しており、更に入会后3年未満の会員が今後多くなる中、このままでは目的達成に向け
4 た十分な運動と活動が出来なくなるどころか、会の存続も危ぶまれています。今年度中
5 は会員30名を目指し、一人一人が当事者意識を強く持って、具体的に行動していくため
6 の事業が必要とされています。

7 まずは、皆で京都会議に参加し会頭所信を聞くことで、今年度の事業構築に活かすとと
8 もに、会員間の交流も図っていきます。そして、4月・7月定例例会では、会員拡大の重
9 要性を再認識して頂き、行動へとつながっていくよう、会員拡大の具体的な手法等につ
10 て研究・確認し、会員全員で共有します。また、10月定例例会ではスポーツ交流会を通
11 じて会員間の交流を更に深め、組織一丸となって会員拡大に取り組めるよう結束力の強化
12 を図ります。さらに、他の団体等に直接出向き、奉仕・修練・友情の三信条の基、敢えて
13 20歳から40歳までの年齢制限のある青年会議所で、まちづくり・ひとづくりに関わる
14 事の素晴らしさを知っていただき、入会見込み者に異業種交流会等を通じて継続して交流
15 を図り、会員拡大につなげていきます。そして、新入会員に対して、我々の目的や、活動
16 と運動について理解を深め、今後の組織を牽引する会員へとつながっていくよう研修を行い、
17 例会・事業等積極的に参加するよう声かけしていきます。

18 我々の慣れ親しんだ地元である鳥取県中部を、活気ある住みやすい街にしたいという想
19 いは、倉吉青年会議所発足から変わらず受け継がれてきました。それを実現する為にも、
20 我々に賛同していただける同志を募り、次代を担う人材を育成・輩出することにより地域
21 に貢献していく事が、我々倉吉青年会議所に託された使命ではないのでしょうか。

22 <事業計画>

- 24 1. 京都会議に関する事項
- 25 2. 例会運営に関する事項(2017年度4月・7月・10月定例例会)
- 26 3. 会員拡大に関する事項
- 27 4. 新入会員研修等に関する事項

28